

だいたい良かった

—— 年末年始の新生活運動 ——

★

城南3市3郡に 田浦公民館がアンケート

年末年始の 新生活運動実践調査

「今年の正月には酔パライが見あたらなかった」とよく云われます。門松も根松を使つた家はあまり見当らず、玄関には日の丸の旗が朝風にはためいていました。

まことに「新生活運動」にふさわしい年末年始だったとは、皆さん方の一致した感想でしょう。

では、どの程度この「年末年始の新生活運動」が実践されたのでしょうか？

芦北郡田浦村の公民館では、城南三市三郡二四の公民館にアンケートを出して、この実践の足あとを集計されましたので御紹介しましょう。

(A) 新正月にどれだけ統一されたか？	完全に行われた	0	2	14	8
	大体行われた	0	1	9	14
	低調だった	0	1	9	14
(B) 門松をやめて国旗掲げる事がどれだけ実行されたか？	完全に行われた	0	2	14	8
	大体行われた	0	2	14	8
	低調だった	0	2	14	8
(C) 回礼や宴会はどれ位自粛されたか？	大体よかつた	0	2	9	12
	やよかつた	0	2	9	12
	低調だった	0	2	9	12
	従来どおりであった	0	2	9	12
(D) 贈答品の往来はどうだったか？	全然ない模様	0	5	15	2
	大体なくなつた	0	5	15	2
	少しなくなつた	0	5	15	2
	従来どおりであった	0	5	15	2
(E) 県新生活運動協議会の提唱した年末年始の新生活運動の四つの実践項目(1)門松はやめて国旗掲げましょう(2)贈答はやめて貯蓄にしましょう(3)回礼、宴会はやめて、		0	5	15	2

生活改善講座

寝心持のよい……

わらぶとんの作り方

農家の暮らし方をみてみますと、衣生活面では、いわゆる「よそゆききもん」だけに、よく気を使いますが、ふだんの夜具は、薄くてかたい「せんべいぶとん」に身を縮めて、寒々とした暮らしをしていられる方も未だあるようです。今年こそは、ふだんの生活に重点をおいて、豊かな暖かい暮らし方を工夫し、実行に移して行くよういたしましょう。その一例として農家に現在沢山持ち合せている、わらぶとんを使つて、敷ぶとんを作り、温く、心豊かな生活をしようではありませんか。

各地で好評です

県下の生活改善グループや4Hクラブ、部落婦人会では、老人や両親へ作つてあげて非常に喜ばれ、家族関係(殊に嫁姑の関係)がとて良くなった実例もあちこちと見受けられます。植木町宝田では、戸毎に一、二枚農繁期前に作られて農繁期中の労働の疲れはその日に治すよう心がけられ、その結果部落中に好評を受け、寝台式に切り換えられた農家もあります。ではこの種を利用わらぶとんの作り方に移りましょう。

四つの型があります

このわら利用の改良敷ぶとんの仕立方は、従来物の様に大型で動かすのに不便なものでなく次の四つの型があります。

① 出来上り寸法長さ五尺のものを、三つの単位に区切って、切り離して作る。その出来上つた物を三枚並べて敷き、これまで使つていた敷布とんを上に載せて使う方法② 五尺の長さを三等分して折り重ねる三つ折式③ 三

材料代は五百円位

① ふとん布 出来上り寸法長さ一九〇釐(五尺)幅九一釐(二尺四寸)厚み十二釐(三寸)の時、大幅物で七、五ヤール(一丈八尺)ヤール幅物で六ヤール必要です。布地は丈夫な物が良く木綿布か化繊の目詰つた物を選びます。

② 糸 縫い糸とち糸用として麻糸のような強い糸が必要です。布紐の代りにこの麻糸で、わらを結ぶのに使用する事も出来ます。

材料の価格

③ 布地が総用布で五百円から六百元

★ 家庭で楽しく過しましたよ④
お正月は新正月だけにしよう。
よう。(はどれ位周知徹底しましたか？)

完全に徹底した 8
大体徹底した 14
低調だった 0
全然徹底しなかった 0
(回答なし) 2

★ その他、感想の欄を読んでみますと、各市町村の公民館や婦人会の活動が、この運動推進の大きな原動力となつていことがうかがわれます。即ち

★ 公民館や婦人会で国旗を持たない家庭を調べて、その購入をあつせんしたり(八代・千丁・田浦)その為商店の旗ざおが品切れになつてしまつた(八代)とか。

★ 宮原町公民館では、三二年までは簡素化の意味で、会費一〇〇円の名刺交換会を行つていたが、やはり弊害があるので昨年廃止し三〇〇円の申込金で、年賀郵便を利用した紙上名刺交換会を行つたが、参加者が前よりもドツとふえて公民館は転手古舞。

★ 水俣市も名刺交換会をやめて、やはり申込金三〇〇円で連名の印刷物をつくり、各家庭に配布したとか。更に徹底した処では、球磨郡錦村では名刺交換会を全然やめて、

★ 家庭だけの静かな正月を呼びかけたという事です。

★ とにかく家庭中心の「ヨカ正月だった」というのが各市町村の感想ですが、中には忘年会や宴会、回礼が、特に官公庁、団体、学校で旧態依然と行われていたという手書きの批判や、表面ではわからないが、贈答品のやりとりをやめようというよびかけが最も徹底してないという感想もチラホラ。

★ 然し、昨年にくらべて格段の自粛ぶりだつたというのが一致した見方です。これもやはり殆んど全部の市町村で十一月頃から「年末年始の新生活」について、公民館、婦人会、青年団、町村議会、学校などが寄合つて話し合を進めた事が、成功の大きな要因となっているようです。又、それだけ県民の皆さんが積極的に「新生活運動」の実践に努力して居られる事を無言のうち

お知らせ

第二回熊本県新生活運動実績発表大会が、きたる二月十八日(火)、熊本市内七ヶ所の各会場で開催されます。

この大会では新生活運動実践部門別にその運動の展開状況や問題点が討議研究されますが、参加者は、新生活運動関係者、公民館、婦人団体、青少年団体など一、四〇〇名程予定されています。

仕立方は

① 並幅物は三幅に縫ぎ、大幅物は、一幅半に縫ぎ合せ普通の敷ぶとん仕立にしますが、厚みを大きくし、格好を作るため表から三糸一四糸程度、摘んでミシンをかけます。ヤール幅の時は別に襷布を裁断して表から付けてミシンをかけます。

② わらの入れ方も簡単です。

わらは根元のハカマだけをすぐり取り、ふとん皮の幅に合せますが、根と裏を交互に打ち合せ、中心を麻糸又は布の裂き紐で、ゆるく結び(一束三百匁一三百三十匁程度に)両端を切断します。

三つ折の一単位に五束平均横向に入れ、表面を平均になるよう叩き乍ら隅々を整えます。

次に周囲の角の格好を良くするため一握りのわらを束ね幅と長さに合せて切つて入れ、かゝる場合、張りがあるよう、縦向にも少々バラのわらを入れます。

一単位のわらの量は、六貫目から一、八貫程度入れると朝夕の片付けの時運搬が楽です。しかし、後で薄くなるのを好まない方は、もう少し多く入れますが、ゴックンになる程詰めたものは、温くない上弾力がないため敷心地が落ちます。それで、軽く入れ、度々

日光に乾燥させて、ふくれた物を使うようにした方が、衛生的な使い方です。もしあまり薄くなつたら、再び追加するよう、入れ口を簡単に付けておくかチャックをつけておけば、わらの出し入れは至極簡単です。

ふとん布の薄い生地を使う時は、古い毛布の破れか古布を、わらとふとん地の間にに入れて、わらを被うようにして入れておけば、わらの塵が外に出ないですみます。

わら布団の 七つの長所

① わらを使つた敷ぶとんの長所を挙げますと、

① 保温力があり、掛ぶとんが薄くても温い。

② 農家の手持材料利用で安価にできます。

③ エバソフトや新しい綿に比べて弾力が少く、発育ざかりの子供の就寝中の骨格の発育が正しくできます。

④ 材料が入り易く、山間地でも簡単に作れる。

⑤ 夜具の厚みが高くなり、掛ぶとんが垂れるので隙がでず、温い。

⑥ 三単位にして運搬に便利な型にして

いるから、日光消毒も度々できてゴミも屋外で打ち払うことができる。

⑦ 屋間は、ソファの替りとして使える。

たゞいま県下各地では、生活改善普及員の指導のもとにこの改良敷布団がひろく普及されつゝありますが、婦人がふとん皮を縫えば、男子が、わらを入れるというふうな共同作業で作つていられる処もあります。この冬を温く豊かに暮らすために皆さんにおすす、めします。